



課題解決のストーリーがでちゃう！

つながるワークショップカード

主催：任意団体 赤メガネdays

We are “赤メガネdays” >>>

沼津にゆかりある学生を中心に発足した団体。社会人になってからも若者から“たのしいぬまづ”を発信。
メンターの赤メガネ先生こと中川先生にサポートいただき活動中。



中川先生と赤メガネdaysのメンバー



事業目的

『+.Action』カードを使用して、自分以外の人とのつながりや新しいアクション（行動の仮定）を加えて、さらに面白いことを考えるきっかけを作る。

- ・地域活動者を増やすこと
- ・活動者の意欲を沸かすこと
- ・活動イメージの手助けをすること

⇒住民による主体的な地域活性化に貢献

活動と成果

昨年ワークショップカードにメンバーがデザインした『+.Action』カードを制作。
裏面には、沼津の関わりの深い深海生物の擬人化イラストを使用。
昨年は単独ワークショップを実施。

今年は、30分程度の簡易版ワークを他のセミナーと連携して、2回開催。
今後は、他のセミナー内にて簡易版を活用し3回程度、単独では2回の開催を予定。

ターゲット

- ・新しいことに取り組む人
- ・起業しようと考えている人
- ・セミナーやワークショップの講師

課題と目標

課題

- ・連携セミナー、単独ワークショップの開催増加。多くの人に、赤メガネdaysを知ってもらい、皆さんの活動の連携による新たな視点や活動に繋げたい。

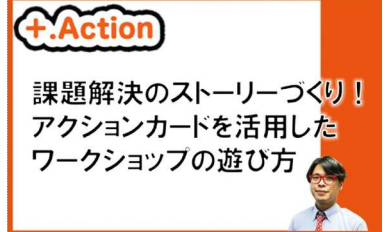
活動目標

- ・単独で2時間のワークショップを開催。

- ・30分程度の簡易版ワークショップを他のセミナーと連携して開催。
(創業セミナーでの自己紹介のアイスブレイクとしても効果的)

急募！連携していただける方

⇒akameganedays@gmail.com



概要：参加者の「人」と「場所」の資源をカードに書き「+.Action」カードをまぜてコラボアクションをつくる

内容物：「+.Action」カード 40枚
説明書、ワークシート 2枚

参加人数：3～5人

準備するもの

- ◇無地のカード 1人8～10枚程度
(「人」、「場所」の資源を記載。
市販の名刺用紙等を利用)
- ◇マジック等

無地 10枚 × 人数分

1 テーブルを囲み自己紹介。



2 取り組む課題をシートの上段に記載。

課題	高齢者の孤食を支えたい！
----	--------------

3 無地のカードに、自分の中から力を貸してくれそうな「人」と活用できそうな「場所」を特徴と合わせて書き出す。

団地ぐらしの坂田さん	市役所職員の鈴木さん	飲食店社長の田中さん
団地の空き部屋	使われていない集会所	近くの人気食堂

4 カード置場を作り、書き出した「人」と「場所」のカードを集めて山に。隣に「+.Action」カードを置く。



5 「人」「場所」「+.Action」のカードを数枚引き、シートに並べる。

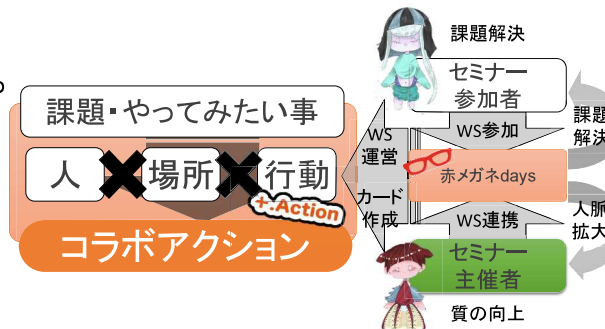
課題	高齢者の孤食を支えたい！	
人	場所	アクション
人	場所	アクション

6 「人」「場所」「+.Action」のカードを掛け合わせ、課題解決策を考え発表。

課題	人	場所	アクション
----	---	----	-------

思わず多くの人が関わりたくなる波及効果の高い解決策を作る！

ワークショップWSのイメージ図



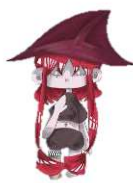
ワークシートの記入例

解決したい課題	沼津をもっと楽しむ！楽しんでいる人をつなぐ！				
人	人	人	+.Action	+.Action	
行動力のあるレミちゃん	沼津志民のみうちゃん	深海魚好きなそらちゃん	まちカツ補助金を活用	任意団体をつくる	
場所	場所	場所	+.Action	+.Action	
積極的な職員さんが多い市役所	Wi-Fiがあり歌が歌えるラジオシティ	人が集まる公的な商工会議所	セミナーを開催	市のFBIにて活動告知	
コラボアクション			赤メガネdays発足！ 「+.Action」カードを使ったワークショップ		

ワークシートの記入例として、赤メガネdaysの活動を整理

関連図 ～連携開催増加～

R6実績	R7実績			R7計画 ～連携3回、単独2回～		
ワーク ショップ	連携 セミナー	連携 セミナー	連携 セミナー	ワーク ショップ		
単独開催 市内1回 参加10人	簡易版	簡易版	簡易版	単独開催		
	市外 2回	市内 2回	市外 1回	市内 2回		



+.actionカードとワークショップの風景